

どうなん海道サイクルルート



○道南地域の歴史・文化を活かしたサイクルツーリズムの推進による、「地域の観光資源の磨き上げと広域的な周遊観光の促進」・「サイクリング観光の普及啓発や受入・走行環境の整備、情報発信を通じてサイクリストの誘客を促進による世界最高水準のサイクルツーリズムの進展」を目的に令和4年度に「道南サイクルツーリズム推進協議会」を設置し活動

道南サイクルツーリズム推進協議会

- ・情報発信や受入環境・走行環境整備を実施
- ・メンバー(どうなん自転車倶楽部、観光協会、シーニックバイウェイ北海道 函館・大沼・噴火湾ルート、シーニックバイウェイ北海道 どうなん・追分シーニックバイウェイルート、行政等)

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○路面表示(矢羽根)による安全対策

・車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し「安全」な走行環境を確保するため、ルート上の主要な交差点部、急カーブの手前等に設置。



(矢羽根型路面表示設置箇所)



(案内看板)

○統一したルート案内

・道路付属物(道路標識、道路照明、固定式視線誘導等)の支柱に、案内看板を貼付。

サイクルツーリズム推進のための取組

○休憩施設の充実

・民間施設や関係機関と連携し、休憩施設の箇所の充実を図る。

○移動サポート体制の構築

- ・サイクリスト応援カーによる自転車工具等の無料貸出体制を構築する。
- ・レンタサイクルの道の駅等の複数拠点で貸し出す仕組みを構築する。

○公共交通機関との連携

・サイクルバスや鉄道への自転車持ち込みを活用できる仕組みを構築する。

○サイクリングツアーを支援する仕組みづくり

・サイクルガイドの育成とスキルアップによりサイクリングツアーを受け入れる環境を構築する。



海の駅へのラック配置



道の駅でのレンタサイクル

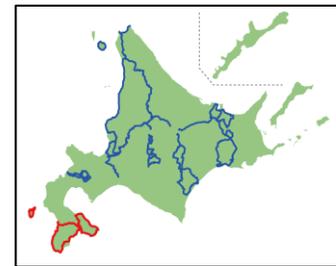


公共交通機関による移動サポート
(自転車持ち込み)



ガイド育成講座の開催

全長約459km



凡 例

- サイクル基幹ルート
- 自動車専用道路
- 一般国道
- 主要道道・一般道道
- JR線
- 北海道新幹線
- ゲートウェイ
- 道の駅